

令和6年度 学校経営・運営方針

校訓：「誠実 勤勉 親切」

青森県立木造高等学校

教育目標

- (1) 何事にも真摯な態度で取り組み、自らの将来を創造的に切り拓く力を育む。
- (2) 自主的に知力、判断力を高め、社会の変化に対応し逞しく生きる力を育む。
- (3) 多様な人々との協働をとおして、人を思いやる豊かな心を育む。

【スクール・ミッション】

総合学科の特長を生かし、生徒の幅広い進路志望等に応じたきめ細かな教育活動を通して、個性を伸長するとともに、地域と連携・協働した探究活動や社会奉仕活動、部活動により、郷土への誇りと愛着や協調性を育み、豊かな心を持った未来を切り拓く人材を育成します。

【スクール・ポリシー】

○グラデュエーションポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- 1 夢と志を持ち、自分の可能性を広げるために、主体的に行動し自走する生徒。
- 2 多様性を認め合える豊かな心を持ち、心身ともに逞しい生徒。
- 3 変化し続ける社会の中で、自ら課題を立て、協働して探究する生徒。
- 4 地域に根差した高等学校として、地域に学び地域を拓いていける生徒。

○カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- 1 単位制総合学科の強みを生かし、多様な進路に対応すべく、教科横断型の学習や主体的・対話的で深い学びを実践し、個の学びに寄り添う細やかな指導を行う。
- 2 I P O F（インプット・プロセス・アウトプット・フィードバック）により、気づき考える力、整理する力、伝える力、より良くなろうとする力を各教科の授業や総合的な探究の時間を通じて育成し、キャリア教育を充実させる。
- 3 地域や社会との関わりの中で、課題や魅力を再発見し、協働しながら方策を考え提案していく。
- 4 I C T機器を効果的に活用することで、情報活用能力や課題解決能力の育成に努める。

○アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 1 志を高くかけ、学業に積極的に取り組む意欲のある生徒。
- 2 人間的成長のために努力できる生徒。
- 3 部活動等や特別活動において主体的に活動する意欲のある生徒。

木高生として挑戦する1年次 木高生として自走する2年次 木高生として飛躍する3年次

重点目標1

規律ある学校生活と豊かで思いやりのある心の育成

- 基本的生活習慣の確立
 - 1 自立と他者を尊重する高校生の育成
 - 2 体験活動の充実による自己伸長
 - 3 礼儀やマナーの徹底
 - 4 いじめ・不適應の未然防止・早期対応
 - 5 二者・三者面談の充実による生徒理解
 - 6 部活動における主体的活動と計画的な指導
- 7 ボランティア活動の奨励
- 安全安心な学校生活
 - 8 安全指導と危機管理の徹底
 - 9 教育相談・特別支援体制の充実

重点目標2

学力の向上と主体的・探究的な学習態度の育成

- 学力の向上
 - 1 生徒の実情に即した授業の改善と充実
 - 2 主体的・対話的で深い学びと家庭学習の確立
→ 研修をとおした課題の工夫と指導
 - 3 シラバスの有効活用と観点別評価による学習改善
- 教員の資質向上(主体的学習態度の育成)
 - 4 研修の精選と充実（講座・視察等）
 - 5 I C Tの活用を生かす教材研究と授業改善の創意工夫
 - 6 公開・研究授業の積極的実施
 - 7 総合的な探究の時間及び課題研究で、他者と協働して課題を解決
→ 言語能力、情報活用能力など学習の基盤となる資質・能力を育成
 - 8 授業アンケートの有効活用と観点別評価による教員の指導改善

重点目標3

キャリア教育と進路指導の充実

- キャリア教育の推進
 - 1 言語活動・表現活動の育成
 - 2 年次に応じた職業観・勤労観の育成
 - 3 総合的な探究の時間及び課題研究の深化
→ 小・中・高校及び地域との連携や協働学習
- 進路指導の充実
 - 4 多様な進路希望に寄り添い3年間を見通した進路指導
 - 5 保護者向けの啓発活動の推進
 - 6 面接・小論文指導の徹底
 - 7 資格取得・校外学習の奨励
 - 8 進学指導体制及び公務員・就職支援の確立
 - 9 大学との連携

重点目標4

保護者・地域・関係団体との連携及び協働

- 保護者・地域への情報提供とPR
 - 1 学校情報の積極的発信
→ 報道機関（新聞社、テレビ）への取材・報道依頼
→ H Pの定期的更新と充実による情報発信
→ 木高新聞・PTA会報・学校案内・年次通信・進路通信
 - 2 P T A活動の活性化
- 地域との連携・協働
 - 3 ボランティア活動の参加・協力
 - 4 地域や同窓会・後援会との連携・人材活用
→ 産業社会と人間・総合的な探究の時間
小中学校との部活動体験交流や協働学習
- 創立100周年記念事業に向けて
 - 5 創立100周年記念事業校内準備委員会の設置

分掌・年次の連携(情報の共有、報告・連絡・相談・記録の徹底)

目的に向かい目標を持った 計画的な教育活動

時を守り、場を清め、礼を正す

指導内容を明確にした 全教職員による指導体制